

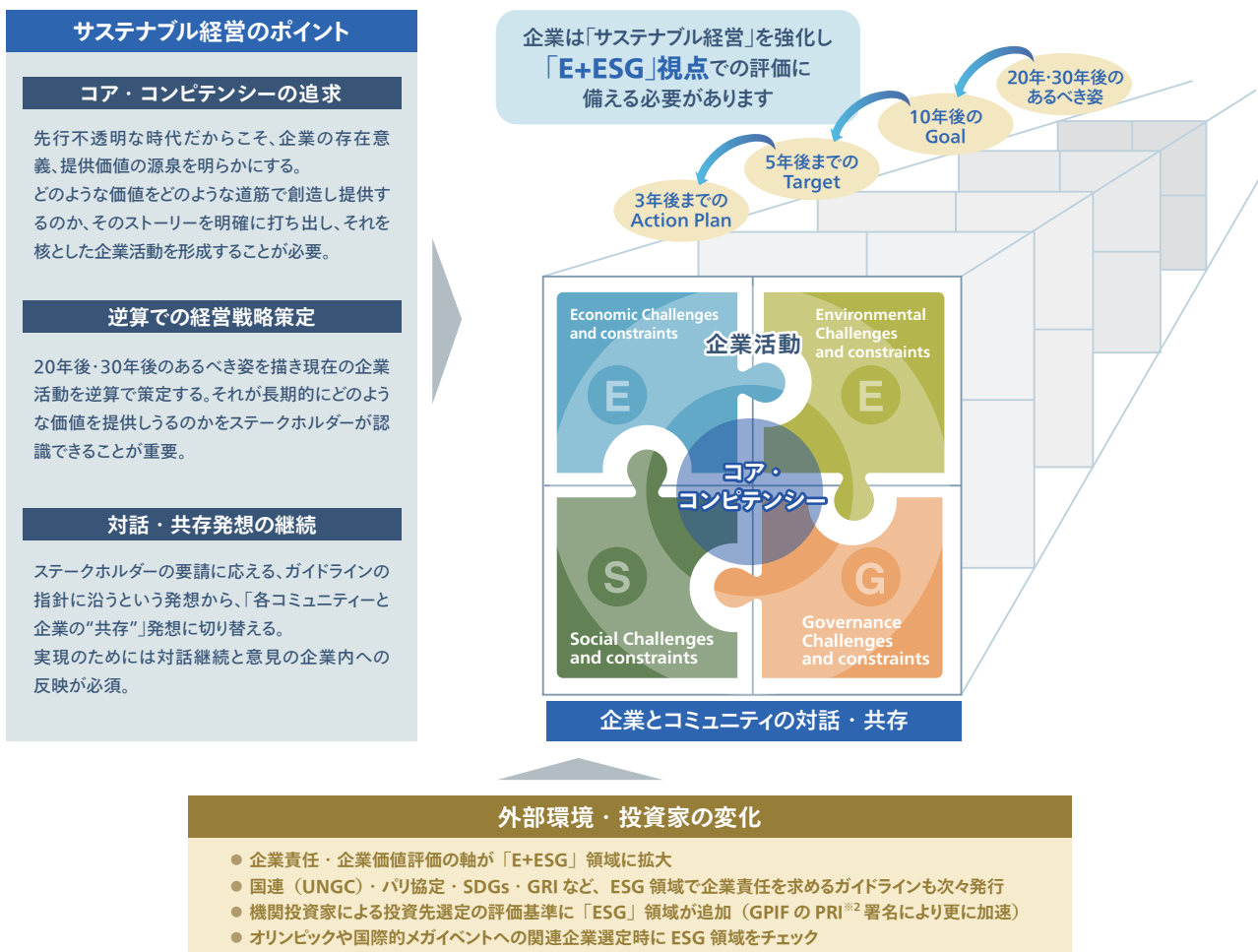
サステナブル経営支援サービス

日本企業が勝ち残る企業になるための戦略・仕組みを構築

社会経済環境の目まぐるしい変化の中、これまで想定し得なかった出来事が次々と発生しています。その中で、全世界的に20年・30年先の地球全体の繁栄を見据えたガイドラインが続々と策定され、企業が取組むべき新たなルールが設定されています。この変化に素早く反応した企業は新ルール策定を競争力強化・イノベーションの種と捉え、新たなビジネス機会の発見とリスクマネジメントの深化という成果をあげています。アビームコンサルティングは、企業が新たに直面する多種多様な不確実要素に対応しつつ、企業価値の源泉を探り競争力を高めるため、戦略策定から実行支援まで一貫したサービスをご提供します。

サステナブル経営とは何か？

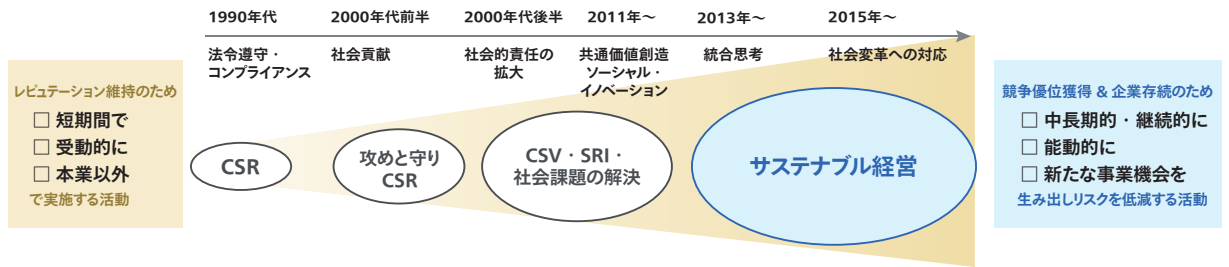
社会経済環境が激しく変化の中で企業が勝ち残るには、イノベーションにより価値を創出し続ける必要があります。それを実現するのが「サステナブル経営」という発想です。これは企業が自らのコアコンピタンスを追求し、長期的な視点・意義を持ちながら競争力を強化し利益向上・価値提供を続けることを目指すものです。日本企業にとって決して目新しい発想ではありません。ただし、近年は国連(UNGC)、パリ協定、SDGs、GRI^{※1}など企業の社会的責任を問うガイドラインが次々と発行され、機関投資家による企業評価・投資選定基準の軸に追加されています。日本企業は「サステナブル経営」を実現しその実績を世界中のステークホルダーが理解できるよう可視化する必要に迫られています。



※1 UNGC(国連グローバルコンパクト)、SDGs(持続可能な開発目標)、GRI(Global Reporting Initiative);これらは企業の社会的責任に関するガイドライン。
 ※2 GPIF(年金積立金管理運用独立行政法人)、PRI(国連責任投資原則);世界有数の資産を持つGPIFがPRIに署名したことで、ESG投資の重要性・日本国内での普及が加速している。

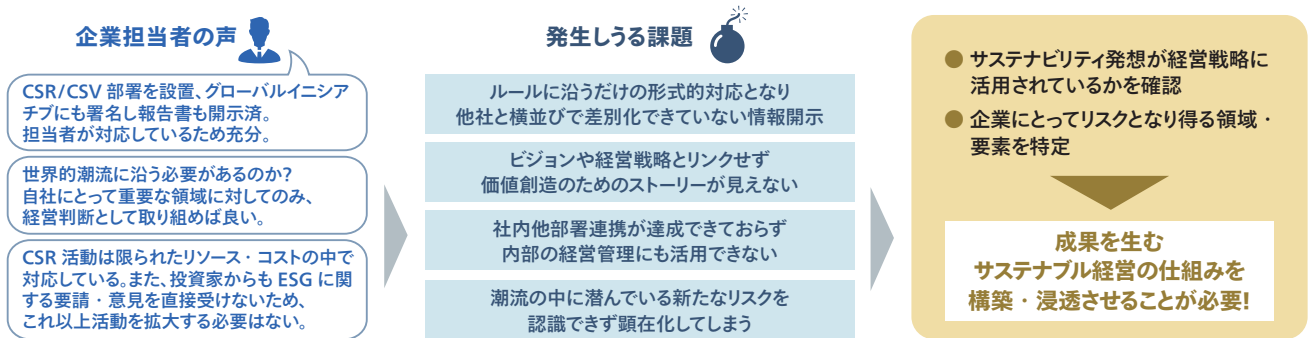
CSR とサステナブル経営の違い

CSR・サステナビリティ領域は1990年代以降大きな変化を遂げてきました。CSRとサステナブル経営では、対象となる範囲・企業の責任・取り組み方が一般的に大きく異なります。



サステナブル経営を実施しているという“思い込み”

多くの日本企業は古くから企業の長期的な事業継続を追求し、従業員・地域・社会・関係者の継続的発展を視野に含め、経営に生かし実現してきました。ただし一方で、ステークホルダーやグローバルイニシアチブからの要請に応えるべく受動的に対応してきたことも事実です。結果、現在の日本企業が実施している“思い込んでいる”サステナブル経営には多くの課題が存在しています。



サステナブル経営支援ラインアップ

アビームコンサルティングのサステナブル経営支援は、日本企業がこれまで培ってきた経営基盤・実績を生かしつつ、グローバルで勝つ残るために「サステナブル」と「経営」の融合を基点にしています。先進企業事例やグローバルガイドラインの追従ではなく、「日本企業らしい継続的な価値提供を実現するための活動は何か」を経済合理性の中で判断し、その推進を後押しします。

アビームコンサルティングは、戦略からシステム基盤までの広い範囲を対象に、最新の情報技術やデータを活用したご支援を提供します。具体的な特長は以下3点です。

- ① 実行支援による効果的な運用システムの構築
- ② 企業の現状・課題・目標に応じた最適対応策の提案
- ③ 組織・人・業務の変革実績を生かしたダイナミックな変化の実現

		Economic	Environment	Social	Governance		
戦略	戦略策定支援	サステナブル経営戦略策定（企業の目指す姿、経済社会環境の変化と企業戦略の融合）					
	マーケティングソリューション	企業ブランディング戦略策定（サステナブル経営を企業ブランド向上に繋げるための戦略策定）					
組織 & 人	社内	チェンジマネジメント	人材育成	社内向け意識改革実行支援/啓発、教育活動実行支援			
		ナレッジマネジメント		サステナビリティ関連のナレッジマネジメントと次世代担当者育成支援			
	社外	行政とのエンゲージメント	ステークホルダーエンゲージメント実行支援				
		サプライチェーンマネジメント	サプライヤー向け啓発、教育活動実行支援				
業務プロセス	全社業務改革推進	エネルギー・カーボンリスク対策支援		ダイバーシティ & インクルージョン促進支援			
	KPI定義	開示自動化支援		Human Rights Due Diligence 実行支援	働き方改革 実行支援	統合リスク マネジメント 構築支援	不正防止 対策支援
	プロセス設計・構築	Environment Management System 導入支援（エネルギー使用量とコストの分析）		マテリアリティ特定診断			
	財務情報開示			既存サステナブル関連活動診断			
システム	基幹システム 導入	情報系 システム導入					